

セフグリーンレーザー
レーサー NAVI2

品番：SFRCV-GNAVI2

取扱説明書

●本製品は、セフグリーンレーザーレーサー NAVI2対応墨出し器にご使用いただけます。

NAVI/ナビ

レーザーを誘導するナビゲーション機構を内蔵したのがNAVIシリーズです。

受光器を地墨に合わせると、レーザー光はこれを追尾してピタリ一致。そのまま天井に地墨ラインを転写できます。従来の二人作業が一人で可能になりました。



お使いになる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。本製品の性能をご理解の上で、適切な取扱いと保守をしていただくようお願いいたします。取扱い方法などのお問い合わせは、製品に関するお問い合わせ先までご連絡ください。

お読みになった後は、後日必要になることがありますので、必ず保管してください。

特長

- 単4形アルカリ乾電池4本で約15時間(受光器使用時)使用可能です。(ナビ/リモコン使用600回以上)
- 市販の単4形充電電池もご使用いただけます。
- 受光器として
 - 明るい場所でレーザー光が見にくい時や、半径1m～20mまでの広い場所で作業をしたい場合に便利です。
- ナビ/回転リモコンとして
 - 墨出し器のナビ機能との組み合わせにより、縦ラインの地墨合わせが容易にできます。
 - 墨出し器を回転リモコン操作で、水平回転させることが可能です。
- ライン/輝度 切替リモコンとして
 - SFRCV-GNAVI2が標準付属となっているタジマレーザー墨出し器と組合せて使用する場合、縦ライン、横ラインの点灯/消灯/輝度切替が可能です。
- 本機は防塵・防水仕様となっていますので、屋外での作業にもご使用頂けます。

但し、レーザー受光窓が濡れたまま、汚れたままご使用になると誤測定の原因となります。

製品に関するお問い合わせは

✉ <https://jpn.tajimatool.co.jp/inquiry>

TEL 0120-125577

受付時間:
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(12:00～13:00/祝日・当社指定休日を除く)

株式会社TJMデザイン

本社/〒174-8503 東京都板橋区小豆沢3-4-3
www.tajimatool.co.jp

[57424] 01

仕様

品名	セフグリーンレーザーレーサー NAVI2
品番	SFRCV-GNAVI2
受光距離	1m～20m以内※1
受光精度	レーザーラインの中心から±1.0mm以内※1
ナビ/リモコン使用可能距離・範囲	(水平方向) 1m～15m以内※1 (高さ方向) 1.8m～3m以内※1
防塵・防水性能	防塵・防水設計
電源	単4形電池 4本 (アルカリ乾電池、ニッケル水素充電電池)
連続使用時間	〈受光器使用時〉約15時間〈ナビ/リモコン使用時〉600回以上※2
オートオフ機能	無受光の場合、約5分後に自動で電源OFF
電池寿命警告	表示LEDの点滅とブザー音にて警告
外形寸法	タテ130mm×ヨコ52mm×厚み33mm
重量	本体 約190g(電池含む)
使用温度	－5℃～40℃

※1 ご使用になる測定位置、作業環境により異なります。 ※2 使用条件、使用方法により異なります。
●改良のため予告なく、仕様・外観を変更する場合があります。

故障かなと思ったら

修理をご依頼される前に、次のことを確認してください。

トラブルの状況	確認項目
電源が入らない	電池が正しく入れられているか確認してください。または新しい電池に入れ替えてください。
受光の反応をしない	レーザー墨出し器本体の電源が入っているか、接続表示LEDが点灯しているかを確認してください。
レーザーラインのないところで反応する	レーザー墨出し器本体のカバーガラスの汚れを確認してください。 周囲に窓ガラスや金属などの反射しやすいものがないか確認してください。 受光窓に直射日光が入っている、または強い照明の光が入っていないか。受光窓に他の光が直接当たらないように角度、方向を変えてください。
ナビ/リモコンが反応をしない	ナビ/リモコンの使用可能な距離・範囲は測定位置・作業環境により異なります。墨出し器近くで反応するか確認してください。
接続表示LEDが点灯しない	電源スイッチのON/OFFを行ってください。 それでも点灯しない場合には、本紙の「受光器とNAVI墨出し器本体の接続設定方法」を参照いただき、手順に沿って墨出し器との接続設定を行ってください。
電源LEDの点滅+ブザー音	新しい電池に入れ替えてください。

上記の方法で解決できない場合は故障です。「故障した時は」をご覧ください。

故障した時は

修理をご依頼される前に、前述の「故障かなと思ったら」を見て故障かどうかを確認してください。

- 1) 購入時にご記入、保管いただきました「保証書」に必要事項が記入されているか再度ご確認ください。
- 2) 本機と「保証書」を運送用外箱に入れ、お買い求めの販売店にお持ちいただくか、お問い合わせ先までご連絡ください。

保証

■当製品は精密電子部品を使用しています。

外部からの強い衝撃により精度不良となるおそれがあります。お取扱いおよび保管には十分に注意してください。尚、お客様が本説明書に記載された警告及び注意に従わないことに起因して、損害が発生した場合には、当社はその責を負いません。ご了承ください。

本機を正しく使うためのご注意

安全にお使いいただくための重要な内容です。
全てをよくお読みの上、指示に従い正しく使用してください。

表示の説明

警告 誤った取扱いをすると、「人が死亡または障害を負う可能性があること」を示します。

注意 誤った取扱いをすると、「人が障害を負う可能性、および物的損害のみが発生する可能性があること」を示します。

絵表示について

- してはいけないことを示す「禁止」表示です。
- 必ず実行していただくことを示す「強制」表示です。

安全上のご注意

以下に記載する内容に十分に注意してご使用ください。

警告

禁止

- 光学器具で直接レーザー光を見ないでください。
望遠鏡やルーペなどでレーザー光を直接見ると危険です。
- レーザー光を直接のぞかないでください。
- レーザー光路は眼の高さを避けてください。
- レーザー光路に立ち入らないようにしてください。
- レーザー光路に反射物を置かないでください。
- レーザー光を他の人に向けてください。
- 幼児や子供の手の届く場所には保管しないでください。
レーザー光を連続して見ると、視力障害を起こすことがあります。
障害が疑われる場合は速やかに医師の診断を受けてください。

注意

強制

- タジマ純正セフホルダー以外に取付けて使用しないでください。
- 使用するセフホルダーの取扱説明書に記載されている使用上の注意使用方法をお読みいただき製品を正しく理解してお使いください。

禁止

- 絶対に分解や改造をしないでください。
本機を分解、改造すると故障、感電の原因となります。
- 乾電池を火の中に入れてたり充電をして使用しないでください。
電池の液漏れ、発熱、破壊の原因となります。

注意

強制

- 使用しない場合は電池を取り出してください。
電池から液が漏れ出して、故障の原因となります。
- 使用者への安全教育について。
レーザー光の性質、危険性などについて、十分ご理解の上ご使用ください。
- 墨出し器のガラスが汚れていないか確認してください。
墨出し器のガラスが汚れていると、レーザー光が拡散し、拡散光によって受光器が誤反応する可能性があります。

免責事項

- 取扱説明書で説明された以外の使い方によって生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の精度確認を怠ったことによって生じた付随的な損害（事業の利益の損失・事業の中断など）に対して、当社は一切責任を負いません。
- 火災・地震・第三者による行為、その他の事故、使用者の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。

使用上のご注意

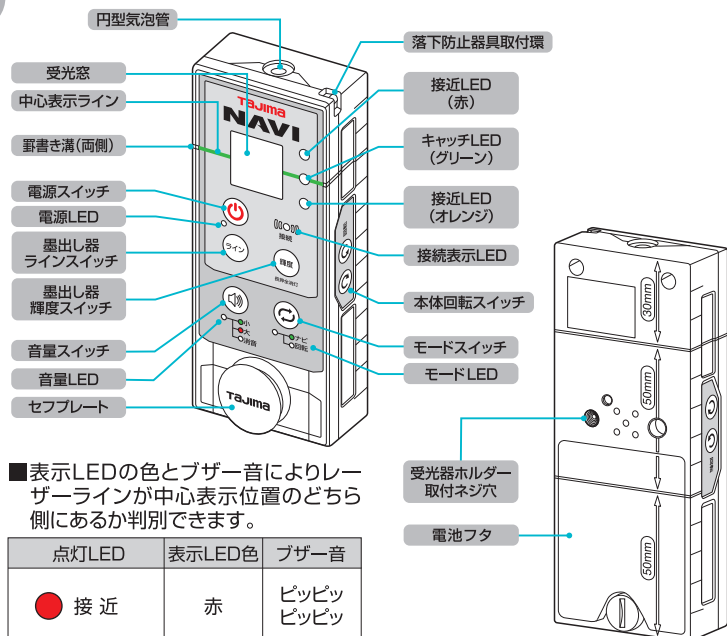
- 使用前使用後には、必ずレーザー墨出し器本体の精度確認をしてください
レーザー墨出し器に付属の「使用上のご注意」をよくお読みください。
- 強いショックを与えないでください
本機を倒したり、落としたりしないでください。衝撃や振動が加わった場合、精度不良や故障の原因となります。
- 本製品は、タジマグリーンレーザー墨出し器専用です
弊社製品の対応機種以外にはご使用できません。
対象機種はQRコードのリンク先でご確認ください。
- 故障したまま、本機をお使いにならないでください
すぐに使用を中止して、お求めの販売店または、お問い合わせ先までご連絡ください。
詳しくは「故障した時は」をご覧ください。
- 濡れたままお使いにならないでください
本機は防塵・防水設計となっています。ただし、雨中での使用や、受光窓の水滴・汚れなどが精度不良の原因となります。必ず、水滴・汚れを拭き取ってからご使用ください。
- 本機は-5℃～40℃の範囲でご使用ください
指定範囲外の温度で使用するご故障および精度不良の原因となる場合があります。
- 結露したままお使いにならないでください
結露が確認されましたら、電源を入れずに結露が取れるまで放置してください。その後電源を入れれば正常に作動します。何時間たっても作動しない場合は、お問い合わせ先までご連絡ください。
- 次の場合、レーザー光の基準位置を正しく検知できない場合があります
 - 直射日光や強い照明下
 - 蛍光灯などの電磁波を発生する機器のそば
 - 窓ガラスや金属・鏡などの高反射面のそば
 - 縦ライン・横ラインのレーザー光の交差部分
 - 受光器本体がレーザー墨出し器にまっすぐ向いていない
 - 受光器本体が固定されていない
 - グリーンレーザーは、レーザー光が強いので拡散光や乱反射などで受光器が誤反応することがあります。
- 本製品は2.4GHz帯の無線通信を利用する特定小電力無線局に該当します
 - 電波法に基づき、技術基準適合認証を受けています。本製品の使用に無線局の免許は必要ありません。
 - 本製品の分解・改造をしないでください。表示された適合マークを消す、認証番号を書き換えないでください。これら行為によって、法律により罰せられることがあります。
 - 本製品の使用する無線信号は他の電子機器や医療機器の動作に影響をおよぼす場合があります。また、その他の機器の2.4GHz帯無線通信に影響をおよぼしたり、他の機器からの電波によって当製品の無線通信が影響を受ける場合があります。

Bluetooth® について

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。
(株)TJMデザインは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。
その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

- 保管について
必ずケースに入れて保管してください。
- 保管場所として、次のような場所には置かないでください
 - 直射日光があたるところや暖房器具の近くなど高温になるところ
 - 冬場の屋外などの低温になるところ
 - ダッシュボード、トランク、荷台や直射日光下で窓を閉め切った車内
 - 急激な温度変化のあるところ
 - 湿度の高いところ
 - 磁気を帯びたところ
 - 振動の多いところ
- お手入れについて
 - 受光窓が濡れたままであったり、汚れると、精度が悪くなる場合があります。
市販のレンズクリーナーできれいに拭き取ってください。
 - 本体の汚れは、埃をよく払ってからやわらかい布で軽く拭いてください。
シンナーなどの溶剤では絶対に拭かないでください。
 - 雨がかかったときは、水分をよく拭き取ってからキャリングケースに収納してください。

各部の名称



■表示LEDの色とブザー音によりレーザーラインが中心表示位置のどちら側にあるか判別できます。

点灯LED	表示LED色	ブザー音
● 接近	赤	ピッピッ ピッピッ
● キャッチ	グリーン	ピー (連続音)
● 接近	オレンジ	ビビビビ

※回転モード時、接近LED(赤/オレンジ)は点滅します

■接続表示LEDの点灯/非点灯により、NAVILレーザー墨出し器と無線通信が接続できているか確認できます。

点灯LED	表示LED色	機能
● (●●) 接続	● 青	無線接続中
	○ 非点灯	切断

■音量スイッチにより3段階の音量切替ができます。

点灯LED	表示LED色	音量
● (音波マーク)	● グリーン	小
	● 赤	大
	○ 非点灯	消音

■モードスイッチによりナビ/回転機能のモード切替ができます。

点灯LED	表示LED色	機能
● (回転マーク)	● グリーン	ナビ
	○ 非点灯	回転

受光器とNAVI墨出し器本体の接続設定方法

注意

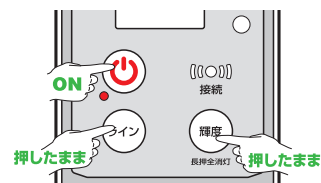
- お買い求めいただいた墨出し器、同梱された受光器は既に接続設定がされており、すぐにご利用いただけます。
- 一度、接続設定がされた墨出し器と受光器には接続情報が登録され、それぞれの電源ON時に自動で接続します。
- 同時に接続設定が登録できる相手は1台です。新たな墨出し器、受光器をお買い求めいただいた際には、本項の手順に沿って接続設定を行ってください。
- できるだけ屋内(事務室・会議室等)で実行してください。
- 周囲に他の墨出し器、受光器がない場所で実行してください。

お持ちの墨出し器と受光器を通信接続させ、リモコン・ナビ機能がご利用いただけるようにする設定です。

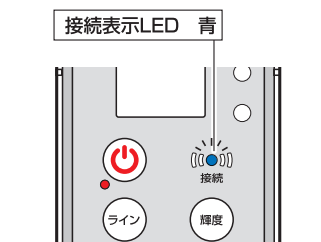
接続設定が登録された墨出し器、受光器は電源ON時に自動で通信接続されるようになり、リモコン・ナビ機能がご利用いただけます。

1 墨出し器本体の電源をONにします。

2 受光器のラインスイッチと輝度スイッチを押したままにしながら、電源スイッチを押します。



3 受光器の電源がONになったら、ラインスイッチと輝度スイッチを離してください。ブザー音が鳴ります。(ピーピー・ピーピー・ピー) 接続設定が完了すると、接続表示LEDが点灯します。



※接続表示LEDが点滅、もしくは非点灯が続く場合は、墨出し器、受光器の電源をOFFにし、再度1から接続設定を行ってください。

受光器としてのご使用方法

注意

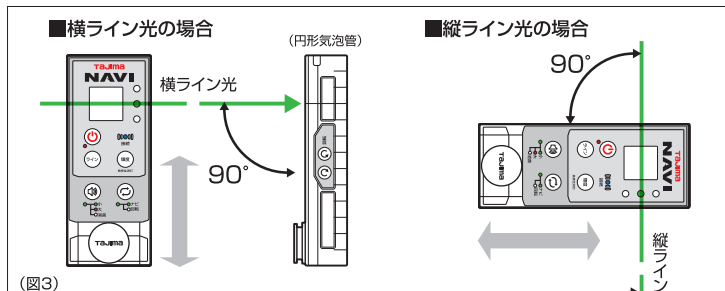
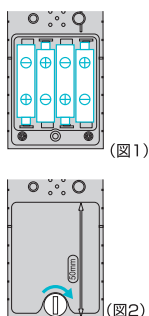
- 受光器として20mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により、反応がしにくい場合があります。
- 受光窓に直射日光が入っている、もしくは近くに強い照明がある時、レーザー光が受光窓に入っていないのに受光反応する場合があります。

1 お使いになる前に、電池ボックスに単4形電池を4本正しく入れてください。(図1)

2 電池フタを閉める際、ネジがしっかりと締まっていることを確認してください。(図2)

3 電源スイッチをONにします。ブザー音が鳴り、その後、電源・音量・モードLEDが点灯します。

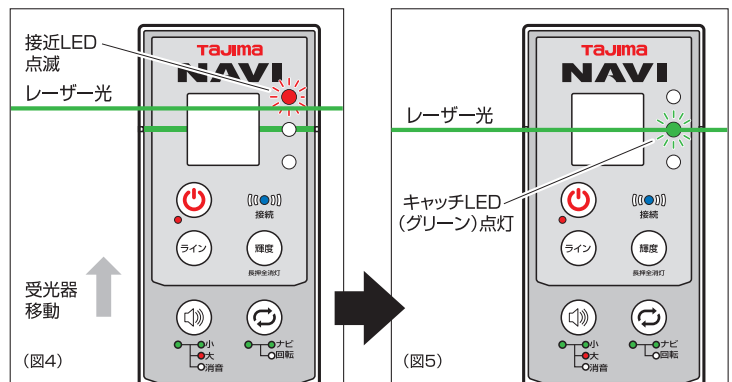
4 受光窓をレーザー光に向け、受光します。受光する場合は、(図3)のようにレーザー光が、中心表示ライン、受光窓に各々90°で当たるようにしてください。



注意

受光器が斜めに傾いたままレーザー光を受光すると、野書の墨付け精度が大きくなります。必ず、中心表示ライン・両側面の野書き溝にレーザー光が重なっている姿勢にて受光器を合わせてください。

5 受光窓で、レーザー光を受けると接近LED(赤もしくはオレンジ)が点滅します。(図4)点滅している側の接近LED側にゆっくりと受光器を動かしていくと、キャッチLED(グリーン)が点灯し、連続ブザー音が鳴ります。その位置がレーザー光の中心位置です。(図5)



6 受光器が動かないようにしっかりと固定し、野書きを行なってください。この時、キャッチLED(グリーン)は点灯し、ブザー音は鳴り続けています。

注意

■野書き後の墨付け精度は①～③を全て加えたものです。

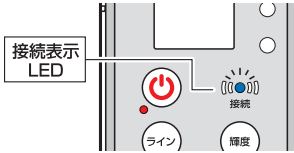
①レーザー墨出し器本体のライン精度 + ②受光器の受光精度 + ③作業者の墨付け精度

■レーザー墨出し器本体のライン精度よりも大きくなります。

リモコン、ナビ機能としてのご使用方法



■受光器の接続表示LEDが点灯しているとき、ご使用いただけます。



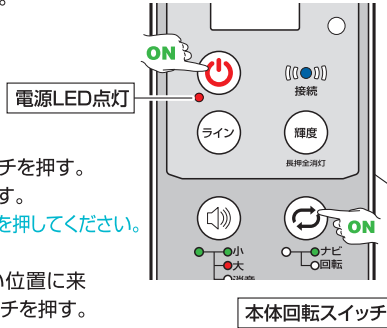
■NAVIレーザー墨出し器本体を、遠隔操作で回転させることができます。

1 墨出し器本体の電源を入れる。

2 受光器の電源を入れ、回転モードにする。

3 受光器側面の本体回転スイッチを押す。
墨出し器本体が回転し始めます。
※回転させたい方向のスイッチを押してください。

4 レーザーラインが使用したい位置に来たら、もう一度本体回転スイッチを押す。
墨出し器本体の回転が止まります。



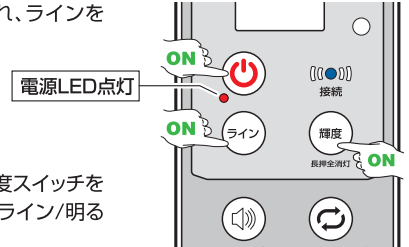
■墨出し器本体の射出ライン/明るさモードを遠隔操作で切替えることができます。

1 墨出し器本体の電源を入れ、ラインを射出する。

2 受光器の電源を入れる

3 受光器のラインもしくは輝度スイッチを押す。墨出し器本体の射出ライン/明るさモードが切替わります。

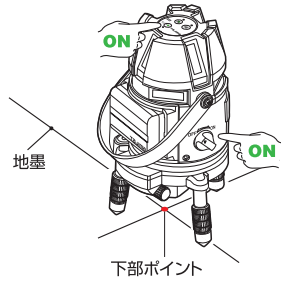
※輝度スイッチを長押しすることで射出ラインを全消灯することができます。
再びスイッチを押すと消灯直前の射出ラインで再射出されます。



■NAVI墨出し器本体のナビ機能との組み合わせにより、自動的に縦ラインの地墨合わせができます。

1 墨出し器本体の電源を入れ縦ラインを射出する。

2 墨出し器の下部ポイントを基点となる地墨に合わせる。

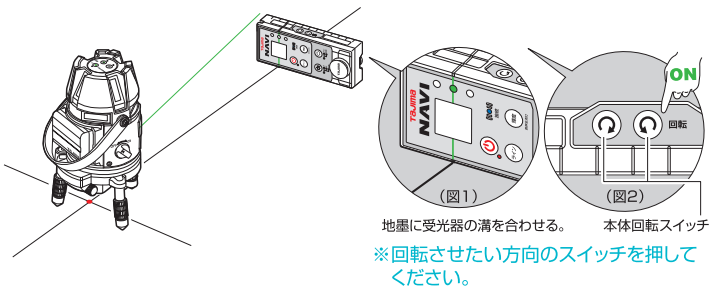
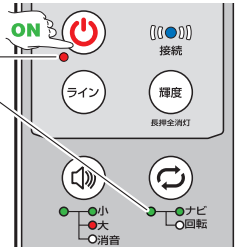


3 受光器の電源を入れ、ナビモードにする。

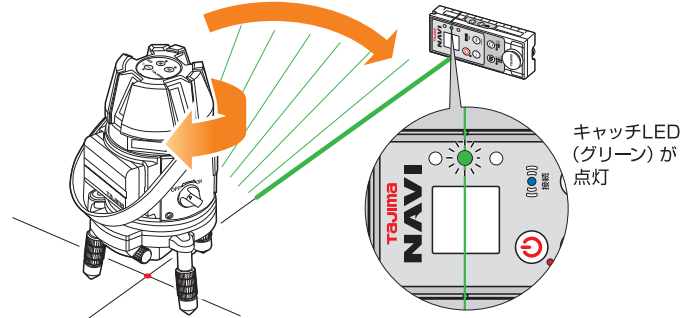
電源スイッチON／赤色LED点灯

モード切替スイッチON／緑色LED点灯

4 受光器を合わせたい地墨ライン位置に置く。
(図1)
受光器側面の本体回転スイッチを押す。
墨出し器本体が回転し始めます。(図2)



5 レーザーラインが受光窓に入ると接近LED(赤もしくはオレンジ)が点灯し、自動的に微調整を開始します。
レーザーラインが受光窓の中心に来るとキャッチLED(グリーン)が点灯し、"ピーッ"と音が鳴り墨出し器の回転が止まります。



6 墨出し器の回転が止まり、キャッチLED(グリーン)が継続して点灯することが確認できたらナビ動作完了です。



- ナビ動作開始後は、受光器の向きを上下反転させないでください。
- ナビ動作中は、受光窓を遮断、遮蔽しないでください。誤動作を起こす原因となります。
- リモコン/ナビ機能として15mの距離までご使用いただけますが、ご使用になる測定位置、作業環境により反応しにくい場合があります。特に天井や壁が無く開けた場所、且つ地面に受光器を直接置いた場合、使用可能距離が著しく短くなる場合があります。
- 通信品質が悪化すると、墨出し器本体との接続が切断される場合があります。接続表示LEDが消灯します。
自動的に再接続されますが、もし回復しない場合は墨出し器本体の近くで、墨出し器と受光器本体の電源OFF、ONを行って、接続表示LEDが点灯してからご使用ください。
- ナビ動作中、本体回転中は、ライン/輝度操作はできません。
- 墨出し器本体の消灯モード中に、ナビ機能、回転を使用しないでください。

セフプレートのご使用方法

別売のタジマ純正セフホルダーと合わせると安全帯や作業ベルトへ直接取付けでき、すぐに使いたい場合など作業性が向上します。また付属の専用収納ケースも直接ベルトに取付けてご使用いただけます。ただし収納ケースに入れたまま同時にセフプレートのご使用はできません。

■セフホルダー(別売)への取付け/取り外し方法

セフプレートをセフホルダーに「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込み固定します。取り外す際はセフホルダーのボタンを押しながら、本体を引き上げてください。

